

事例番号:350123

原因分析報告書要約版

産科医療補償制度
原因分析委員会第五部会

1. 事例の概要

1) 妊産婦等に関する情報

初産婦

2) 今回の妊娠経過

特記事項なし

3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 38 週 4 日

8:30 陣痛発来のため搬送元分娩機関入院

4) 分娩経過

妊娠 38 週 5 日

9:40 顔色不良、発汗、血圧 66/36mmHg、腹痛、苦悶様表情認められ、ドップラ法で胎児心拍数 90-100 拍/分台

9:51- 胎児心拍数陣痛図で胎児心拍数基線 120 拍/分台、高度遅発一過性徐脈を認める

11:40 常位胎盤早期剥離疑いのため当該分娩機関へ母体搬送で入院

12:22 胎児機能不全、常位胎盤早期剥離のため帝王切開で児娩出

胎児付属物所見:60-80%に剥離が認められる

5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:38 週 5 日

(2) 出生時体重:3000g 台

(3) 臍帯動脈血ガス分析:pH <6.59、BE -36.6mmol/L

(4) Apgarスコア:生後 1 分 1 点、生後 5 分 4 点

(5) 新生児蘇生:人工呼吸(バック・マスク)、気管挿管

(6) 診断等:

出生当日 重症新生児仮死

(7) 頭部画像所見:

生後 12 日 頭部 MRI で大脳基底核・視床に信号異常を認め低酸素性虚血性
脳症の診断

6) 診療体制等に関する情報

〈搬送元分娩機関〉

(1) 施設区分:診療所

(2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医 1 名

看護スタッフ:助産師 1 名、看護師 1 名

〈当該分娩機関〉

(1) 施設区分:病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医 3 名、小児科医 2 名、麻酔科医 1 名

看護スタッフ:助産師 4 名

2. 脳性麻痺発症の原因

(1) 脳性麻痺発症の原因は、常位胎盤早期剥離による胎児低酸素・酸血症によ
って低酸素性虚血性脳症を発症したことであると考える。

(2) 常位胎盤早期剥離の関連因子は認められない。

(3) 常位胎盤早期剥離の発症時期は特定できないが、妊娠 38 週 5 日の 9 時 40
分頃もしくはその少し前の可能性があると考える。

3. 臨床経過に関する医学的評価 (2020 年 4 月改定の表現を使用)

1) 妊娠経過

妊娠中の管理は一般的である。

2) 分娩経過

(1) 搬送元分娩機関における陣痛発来のための入院時の対応(分娩監視装置装
着、バイタル測定)は一般的である。

- (2) 入院後の管理(分娩監視装置装着、疼痛が弱まったものの翌朝まで様子を見ることとしたこと)は一般的である。
- (3) 妊娠 38 週 5 日、9 時 40 分トレ歩行後の対応(バイタルサイン測定、超音波断層法実施、分娩監視装置装着、分娩室へ移動し酸素投与開始)は一般的である。
- (4) 9 時 51 分からの胎児心拍数陣痛図について、10 時に一過性徐脈なしと判読したこと、10 時 30 分に妊産婦は傾眠傾向であり収縮期血圧 90mmHg であることから、帝王切開を準備し血液検査を実施したことは、いずれも一般的である。
- (5) 血液検査で血小板減少が認められ、常位胎盤早期剥離疑いのため、当該分娩機関へ搬送を決定したことは一般的である。
- (6) 当該分娩機関到着後の対応(分娩監視装置装着、生体モニタ装着、超音波断層法実施、血液検査実施)は一般的である。
- (7) 持続性の腹痛あり、胎児心拍数陣痛図で胎児心拍数波形レベル 5、常位胎盤早期剥離・胎児機能不全の診断で、当該分娩機関到着から 29 分後に児を娩出したことは一般的である。
- (8) 臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である。
- (9) 胎盤病理組織学検査を実施したことは適確である。

3) 新生児経過

新生児蘇生(バッグ・マスクによる人工呼吸、気管挿管)は一般的である。

4. 今後の産科医療の質の向上のために検討すべき事項

- 1) 搬送元分娩機関および当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項
 - (1) 搬送元分娩機関
なし。
 - (2) 当該分娩機関
なし。
- 2) 搬送元分娩機関および当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項
 - (1) 搬送元分娩機関

なし。

(2) 当該分娩機関

なし。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

常位胎盤早期剥離は、最近の周産期管理においても予知が極めて困難であるため、周産期死亡や妊産婦死亡に密接に関与する。常位胎盤早期剥離の発
生機序の解明、予防法、早期診断に関する研究を推進することが望まれる。

(2) 国・地方自治体に対して

なし。